

## 〈平成 25 年度 総会〉

### 開催挨拶

環境システム計測制御学会 会長 清水 芳久  
京都大学大学院工学研究科 教授

平成 25 年度の総会の開催にあたりまして、ご挨拶を申し上げます。皆様におかれましては、何かと、ご多忙のところ本総会にご出席を賜り、誠にありがとうございます。また、日頃から、EICA の活動・運営にご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

本日の総会におきましては、平成 24 年度事業報告及び収支決算、並びに平成 25 年度事業計画及び同収支予算とともに、本年度の評議員改選についてご審議をいただくことになっております。

EICA では、平成 23 年度より、「アジア地域の流域管理における計測自動制御技術委員会」と「東日本大震災調査研究委員会」を組織し、活動を実施しております。前者では、昨年 11 月末にマレーシアの首都クアラルンプールにあるマラヤ大学にて開催された日本学術振興会アジア研究教育拠点事業「リスク評価に基づくアジア型統合的流域管理のための研究教育拠点」シンポジウムに EICA メンバーが参加し、途上国における計測自動制御についての重要な情報交換を行ってまいりました。また、後者では、日本学術会議主催の「東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会」に参画しております。また、電気学会と「公共施設における低頻度・大規模災害に関するリスク・マネジメント共同研究」に関する覚書を締結し、研究発表等の相互協賛を進める予定にしています。更に、今年になって、高潮被害の情報把握のため、昨年 10 月末に米国東海岸を襲ったハリケーン・サンディによるニューヨークを中心とする下水道被害の調査を目的とした研究グループを立ち上げました。現在、ニューヨーク市環境事業本部下水道局等にアンケートを依頼しています。今後、調査を進めた上で、報告書を作成



し、米国との情報交換も含めて災害技術の国際的継承に寄与することが出来ればと考えています。

EICA はこのように国内での貢献から、国外も含めた国際的な取り組みを行っています。われわれが当然と思っていることが、途上国のみならず先進国においても浸透していないことが多々あると思います。EICA でのこのための技術の橋渡しのための大きな一翼を担えればと考えています。

尚、平成 25 年度研究発表会は、10 月 31 日と 11 月 1 の両日に東北大学で開催します。多くの会員の皆様のご参加がありますように、お願い申し上げます。

本日は、総会終了後に、中部大学客員教授・山田雅雄先生と W & E 研究所代表・山村尊房先生にご講演をお願いしてあります。またその後に交流会を開催することといたしておりますので、引き続きご出席を賜り有意義な情報交換に努めていただきますようお願い申し上げます。ありがとうございました。